

平成26年度第1回花巻新渡戸記念館運営協議会の会議録

日時：平成26年7月18日（金）

場所：花巻新渡戸記念館事務室

1 日時：平成26年7月18日（金）14時～15時45分

2 場所：花巻新渡戸記念館事務室

3 出席者

(1) 委員：内館勝人委員、小原幸子委員、上村正三郎委員、木村清且委員、杉本摂子委員、副盛田弘委員（計6人出席）

（欠席委員：伊藤新一委員）

(2) 市側：細川祥生涯学習部長、嶽間沢茂新渡戸記念館館長、小原弘道同副館長（進行係）、林秀学芸調査委員（記録係）

●委嘱状の交付

会議に先立ち細川生涯学習部長より、各委員に委嘱状を交付する。

（※欠席委員については、後日、直接手渡しした。）

4 会議の顛末

●会議成立の報告

○副館長

本日欠席のお知らせをいただいた方以外の方は全員出席となりましたので、若干予定の時刻よりは早いのですが始めさせていただきたいと思います。本日はこのように蒸し暑い中ご出席を賜りましてまことにありがとうございます。また今回、委員の選任につきましては快くお引き受け下さりありがとうございます。

それでは、本日の会議の成立について報告いたします。本日欠席のご連絡がありましたのが、伊藤新一委員です。従いまして過半数以上の出席を賜っていますので、花巻新渡戸記念館条例第9条第2項の規定によりまして、会議が成立していることを報告いたします。

○開会（嶽間沢館長）

こんにちは、館長の嶽間澤と申します。2年半前に、佐藤前館長から引き継ぎを受けまして、当職務めさせていただいております。次第を見ますとこの後私が発言する機会が協議の所しかありませんので、質問があればその時にお受けする形になりますので、若干当館の運営状況について私なりに説明をさせていただきたいと思います。まずもって、運営委員の選出についてお受けくださり、ありがとうございました。これから約2年間、よろしく願いしたいと思います。

昨年度は年間16,415名の入館がありました。一昨年度2万人近かったのですが、若干落ちております。これは一昨年度全県を挙げてのディスティネーション・キャンペーンが

あり、様々な復興支援とともに岩手を盛り上げようという県全体での取り組みがございました、近辺の施設も入館者が多かったようですが、25年度はちょっと落ちているようでございます。ちなみに、先人記念館は14,500人くらいだそうです。原敬記念館は7,500人程度、後藤新平記念館は4,000人をちょっと切るくらいということで、一人の先人を顕彰し紹介している記念館としては、頑張っているほうかなという状況であります。

近くに、去年13万人入った宮沢賢治記念館さんがありますし、交通の便、宿泊関係の面も恵まれた場所に立地しているということでもあります。賢治記念館さんの入館者に比べれば桁が違いますが、後ろの資料にも載せておきましたが入館者の方々に書いていただいた感想等も載せておきました。様々全国からいらした方々がお褒めの言葉をいただいておりますし、何よりもここに来て新渡戸稲造あるいは新渡戸家のルーツを知ったと感動されて帰るお客様が多いと感じ、良い記念館だと私も自負しております。

出来ましたらこれから育てていく子供達、特に花巻の小、中、高校生達に紹介したい人物だと、その人物と花巻の関わりを見ていただきたいということで、一昨年以來、小学校中学校、高校に働きかけを行っています。10月に新渡戸フェスティバルという催し物をやっておりますし、一昨年は中学校2年生の生徒会ニューリーダーを対象に新渡戸について学ぶ機会を設けました。参加者は矢沢中学校の3年生が全員参加したこともあり100名ほどでした。昨年は小学生を集めて、盛岡の女性新渡戸研究家の佐藤美佐子さんと呼んで催し物を行いました。結果、市内の小学校6年生全部にチラシを配布し呼びかけたんですが12名の参加に留まりました。その経験から、まず先生達に知ってもらわないと子供達に浸透しないんじゃないかと思ひまして、この4月、5月に花巻、北上、遠野の小中学校、高校78校教職員数は1,976名にパンフレットと私のメッセージを配っていただくように学校訪問してきました。その結果、宮野目小学校、湯口中学校、太田小学校の小中学生が学年行事や社会科見学等で訪れてくれるようになって参りました。

今年の10月は高校生を対象に新渡戸稲造研究家の藤井茂氏にお願いをして、私が30分花巻と新渡戸について、藤井さんには海外での取り組み、どうして太平洋の架け橋となり得たのかを国際人新渡戸を語ってもらおうと予定しております。

また、嬉しいことに、昨年は宮沢賢治のパンフレットを作った盛岡タイムス社で今年は新渡戸稲造のものを作ってくれるそうです。盛岡の新渡戸基金が中心となって先人記念館、花巻新渡戸記念館が協力するかたちで取り組むことが決定しておりますので、今年の秋口にはこういった大型のパンフレットが無料で配布することができますし、新渡戸さんについて周知できるんじゃないかと考えております。

残念なことに、「あったかいなはん花巻号」という、今までは500円、今年からは1,000円に値上げして花巻の様々な観光地を巡るバスがあります。この3月までは宮沢賢治記念館、それから当館と高村光太郎記念館と廻ったのですが、今年から当館が外されマルカンのソフトクリームがその代わりに入ったようです。去年は1年間で1,600人程度の入館があったのですが、外れてしまいました。観光協会や観光課長にはお願いをして来ましたが、今度の改変の時には当館を入れていただくように働きかけをしております。

後で提案があると思いますが、平成3年に木村委員の設計で当館がオープンして25年が経とうとしております。北海道大学の図書館で出している冊子を目にしましたが、東京女子大学の学生が新渡戸稲造と佐藤昌介に関する展示をたった1日のためにセットしたものを紹

介されていました。その資料を当館でなんとか活用できないかと問い合わせをいたしました。資料は貸出せないが写真類に関しては貸出しできるということで、出来れば佐藤昌介と新渡戸稲造の北海道での様子、この2人は非常に岩手を代表する友情物語ですから、当時39歳で校長の佐藤昌介と33歳の新渡戸稲造が教頭、この2人が札幌農学校を経営して行ったという仲ですから25周年に向けてこの2人の展示を、資料は外部に持ち出すのは厳しいということでしたが写真等を使ったパネル展になると思いますが、いずれ花巻での2人を紹介したいなと思っております。

どうぞ今日はよろしく願いいたします。ただ今より、平成26年度第1回運営協議会を開催いたします。

○副館長

ありがとうございました。続きまして、当館の所管部長であります細川生涯学習部長よりひとこと挨拶を頂戴したいと思います。

●部長あいさつ

○細川生涯学習部長

生涯学習部長の細川でございます。今日はお忙しいところ新渡戸記念館の運営協議会にお越しいただきありがとうございます。館長さんからも活動や今後の方向性のお話がありましたが、今日は昨年度の活動の状況報告や今年度進行中の事業、あるいは新年度に向けましての取り組みについて協議を申し上げるという状況ですので、是非忌憚の無いご意見をいただきまして当館の運営の糧となるようにして参りたいと思います。今日は是非どうぞよろしく願います。

●委員の紹介

○副館長

ありがとうございます。それでは、委員の紹介と次第にありますが、大変恐れ入りますが、自己紹介という形でお願いしたいと思います。

○内館委員

矢沢地域振興会からの選出で参った内館といいます。よろしく願います。

○上村委員

史談会からの選出で参りました。新参者で花巻の歴史には疎いものですが、24年に花巻に参りまして、コンピューター周辺機器の設定をやっておりました。高村光太郎が花巻に居ることすら、その時は分からなかったのですが。木村委員さんを中心に菊池邸の保存をするなど、花巻の文化レベルは高いなあと感じております。退職してから興味を持ち始めた分野ですが、どうぞよろしく願いいたします。

○木村委員

木村といいます。花巻市文化財保護審議会からの選出です。先ほど館長さんのお話の中で設計の話に触れられ、もう25年になるかと感慨深く思っております。その間佐藤昌介先生と新渡戸稲造博士の生誕150年という事業にあたりまして、北海道大学に何度か訪れる機会がありました。2人を紹介する非常に充実したコーナーがあり、巖手寮という岩手出身の子弟のための寮が存続しておりました。北大のレベルが高く花巻からの入寮者はなかなか居

ないようでありますけれども、非常に親しみを感じましたし、花巻のことを聖地のように想ってくれておりましたので、今話を聞いて非常に楽しみにしております。

○杉本委員

国際ソロプチニストから選出された杉本摂子です。一日市に住んでおまして、この会に入ってまだ2年と何も分からずに今後勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○福盛田委員

福盛田といいます。花巻芸術文化協会からの選出で参りました。その後、佐藤昌介顕彰会の事務局長も務めました。史談会にも所属しております。よろしくお願いいたします。

●事務局の紹介（館長より）

館長より、職員の紹介があった。

●協議会の概要説明

○副館長

それではここで、次第にはありませんが本協議会の概要・役割について簡単に説明します（資料1 1頁以降の説明）。

●会長の選出

○副館長

続きまして、協議会の会長選出に進みたいと思っております。先ほど説明しましたとおり、会長の選出は委員の皆様の互選によって決定されます。正式な会長が選出されるまで、仮の議長として細川生涯学習部長に会長選出について進行をお願いいたします。

○細川生涯学習部長

条例の規定によりまして、会長の選出までのあいだ進行させていただきます。委員の互選ということですが、どのように取り計らいいたしますか。

○福盛田委員

木村さんが、長く務められているし良いと思います。

○一同：異議なし。

○細川生涯学習部長

それではただ今ご指名、また承認いただきました木村委員さんに会長を引き受けていただくことで、よろしくお願いいたします。

○副館長

会長不在時の職務代理者について、会長の指名で決定していただいてよろしいですか。

○木村会長

それでは、会の内情をご存知の方がよろしいかと思っておりますので内館さん、お願いできますか。

○内館委員

よろしくお願いいたします。

●協 議

○副館長

それでは同じく、協議会規則によって議事の進行は会長が務めるとありますので、この後、議事の進行についてよろしくをお願いします。

○木村会長

それでは引き続きまして、協議に移ります。協議事項1、平成25年度事業報告について事務局からお願いします。

○副館長：資料に基づき、平成25年度事業報告を行う。

○木村会長

ありがとうございます、それでは事務局から説明のありました内容について、何か質問がありましたらお願いいたします。

○福盛田委員

アンケート集計結果の人数が36人。ひと月にすると3人程度。この数字ではデータとして不十分ではないか。どういう集計方法なのか。

○副館長

今、受付脇のチラシなどを置いているテーブルに設置している。もう少し目立つ所に置かなければいけないと相談していたところでした。窓口でアンケートの誘因も必要かと思う。今まではそういった取り組みをして来なかったもので、改善したい。特に市内の方からの回答が少ないので、今後検討したい。

○福盛田委員

項目が多数あったり、書くのが面倒だと集りにくいと思う。簡潔なアンケート用紙を作る必要があると思う。

○館長

積極的にアンケートをとろうという姿勢は今まで無かった。関心のある方がじっくり見学した後に気付く人は書いていく、という状態。これからは設置場所、方法、内容を見直します。

○福盛田委員

企画や催し物によっても入館者数は変わってくると思う。

○館長

入館者については毎年ご指摘をいただき、心苦しい限りです。全国的に知らせるためには様々なPR活動、雑誌や新聞への掲載は効果的かと思う。それなりの予算をいただきながら積極的に掲載していきたい。学校関係は毎年校長室にいつてお願いしてきました。しかし校長にお話してもなかなか伝わらない部分があるので、今年は教員一人一人に配って欲しいとチラシと案内文をお願いした。この先、タクシーの運転手に向けて案内をするつもりだ。旅館の従業員の方に、講習会をしているようなので、そちらにも講演させていただきたいと思っている。

○上村委員

PRの仕方について、関連性を持たせてはどうか。教員への理解を深めないと生徒に伝わりにくいと思う。

○館長

教科書、副読本で新田開発や新渡戸稲造を取り上げてもらっている。だんだん広がっていくのではないかと期待している。

○木村会長

それでは次に進みます、平成26年度事業計画について事務局から報告をお願いします。

○副館長：資料に基づき、平成26年度事業計画について説明を行う。

○木村会長

ありがとうございました。今までの中で、何かご意見がありましたら委員の皆さん、お願いいたします。

○内館委員

情報の発信という点で、花巻市のホームページにイベント情報という頁がある。ここに生涯学習の講座関係は多く載っているが他の部分ではイベント情報が載っていない。是非ここに載せていただきたい。アンケートの中にも、記念館を何で知ったか、という問いも設けているのだからインターネットを活用するべきだ。さらに進めて、27年度事業にあるが、ホームページの中で新渡戸さんの情報発信をしたらどうか。周辺4施設合同でのホームページ作成という案も考えられる。

○館長

4館からの情報発信は必要だと思う。

○副館長

ホームページ作成については、ソフトが代わり今月研修会があった。今回の研修をもとに、早急に対応する。

○会長

友の会について、説明をしていただきたい。

○館長

教職員に向けて当館の案内を配布した際に、友の会についても記載した。新渡戸基金で年4回発行している太平洋の橋をはじめとして、新渡戸に関する様々な情報を発信したいと考えた。現在は申込がないので、9月以降に広報で市民にも呼びかける予定でいる。こちらからの情報提供の場であり、関心のある方は参加していただきたい。

○会長

25周年記念事業について、北海道大学で当時学んだ人物を掘り起こす、そういった花巻ならではのものが出来ると良いのではないかな。

○福盛田委員

佐藤昌介顕彰会のほうでも、岩手県出身の北大同窓生の名簿が来ている。その方たちに向けても情報を発信していけば、そういう繋がりでも当館をPR出来るのではないかな。そのほかに、以前他館の集まりでも話が出たが、花巻市内全館を対象としてパスポートを作ってはどうか、という案が出た。サポート会員を増やさなければ、年々減って行く市民を対象とした館の運営は厳しいと思う。

○副館長

来ていただいた方の評価は高いのもう少し対外的にPRできれば、と思う。

○細川生涯学習部長

付け加えさせていただくならば、PR 発信についてはそのとおりだと思う。きっかけになりそうなことのひとつとして、山場が28年度にある。いわゆる宮沢賢治生誕120周年と岩手国体が28年なので、県外からの来県者が増える。その前に当館の25周年ということで、国体もプレ大会があり、色々な機会を捉えてやっていこうと思う。他館との連携を注意し、知恵をしばって参りたい。

○福盛田委員

新渡戸ロードはどのように活用されているか、当館に問い合わせがあるか。

○館長

改めて再認識してもらおうという考えで、今企画展でも紹介している。

○木村会長

それでは次に進みます。27年度事業について、説明をお願いします。

○副館長：資料に基づき、平成27年度事業について説明

○細川生涯学習部長

25年経った施設、空調などの設備は修繕が必要であろうと思う。

○小原委員

新聞に稲造さんの記事があった。新渡戸さんのことが益々PR出来るよう、と思っています。

○細川生涯学習部長

もっと情報を発信し、知っていただくことが大事だと強く感じた。是非対応し考えていきたい。節目の年に向けて取り組みをしていく。

○館長

漫画家で歴史評論家の黒鉄ヒロシ氏が新渡戸稲造を紹介している。是非、子供達に紹介したい人物だと思っている。また山形からの来館者から新渡戸稲造の5千円札を提供していただいた。あちこち新渡戸に詳しい、関心のある方がいらっしゃるので色々教えていただいている。それをまた、市民の皆様に発信していきたい。

○内館委員

子供達に紹介した後、感想文や作文を募ってはどうか。先人の思想や生き方がどう関わっているか、感銘を受けた声を集めて冊子にするというのも面白いと思う。

○館長

新渡戸基金で募ったところ、高校生の応募が1件小学生の応募が3名だった。書かせる前に知らせることだと思う。

○木村会長

それでは、これで協議を終了します。

●閉 会

○副館長

本日はどうもありがとうございました。これにて、運営協議会を終了します。